

委員会の審査から

議案や皆さんから提出された請願・陳情は、原則として所管の常任委員会等で審査を行います。ここでは、第2回定例会における各常任委員会での主な審査内容についてお知らせします。

◇審査内容の詳細は会議録に掲載します。また、常任委員会中継から視聴することができます。公開期間は、会議録が掲載されるまでです。



常任委員会
中継

企画総務委員会

「事務処理適正化の取組」

【説明】市では3種類の会議体を設置し、事態の状況に合わせて取組を進めている。1

つ目は、事態の発生直後、市民に多大な影響を及ぼす場合など、発生した事故等を速やかに解決し、事態の正常化を目的とした即応会議。2つ目

は、一定事態の収束後、検証・対策等の検討を行う事務処理適正化等検討委員会。3つ目は、検討委員会の下部組織である4つの部会。それぞれの開催状況等を報告する。

【主な質疑】

問 事務処理の適正化と組織の活性化を両立させていくため、人材育成が必要だが、どういう取組をしているのか。

答 職員の基礎的な能力、事務処理能力の育成のため、研修を行う。また、事務処理ミスが起きる要因としてコミュニケーション不足というところもあるため、職場環境の充実も視野に入れ、取組を進めていく。

問 特にこの4～5年で取組が強化されたが、その成果は。答 事務報告書の発行後の訂正はなくなってきた。また、担当職員から事務処理に関する取組の提案があるなど、職員一人一人の中に意識が根付いてきている。

文教厚生委員会

「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」

【説明】国の基準の一部改正に伴い、家庭的保育事業等における職員配置について、保育士1人につき、3歳児20人を15人に、4・5歳児30人を25人に改める。

【主な質疑】

問 今回の規定整備で、どのような効果を期待しているのか。その狙いは。

答 安心して子どもを預けられる体制整備を期待している。また、保育所の運営基準となる公定価格の改善を併せて行うことで、保育人材の確保に取り組む。

問 3歳児クラスの現在の必要保育士数の達成状況は。

答 3歳児を含め、園全体で必要保育士数が達成できないところは私立で6園ある。現状としては、職員配置が満たされている状況が多いと認識している。

問 市内の4・5歳児クラスで1クラス26人以上のクラスはいくつあるか。

答 2園で、計4クラスある。問 経過措置について期限が設けられていないが、今後の対応の見通しは。

答 今後は、業者や園とも連携し、早めの配置に向けて調整していきたい。

【結果】賛成全員で可決

建設環境委員会

「下水道条例の一部を改正する条例」

【説明】国が行っているアナログ規制の見直しの1つである「常駐・専任規制」に、指定下水道工事店の指定基準における排水設備工事責任技術者に係る規制が該当するため、改正する。

【主な質疑】

問 排水設備工事責任技術者の資格などに変更はあるか。

答 変更はない。問 市民へのメリット、デメリットは。

答 メリットは下水道工事店が増えること、デメリットは無いと考えている。

【結果】賛成多数で可決

【市道路線の認定及び変更】(10件)

【説明】新たな市道路線の認定を8件、変更を2件行う。

【主な質疑】

問 道路幅員増幅に関して、事前に協議があるのか。

答 開発の基準を満たした上で、安全な幅員かどうかを確認し、市の帰属としている。問 帰属を受けた道路の雨水排水の施設はどうなっているのか。

答 該当する道路で処理ができるように、浸透人孔や浸透トレンチを設置することが原則となっている。

【結果】賛成全員で可決

予算特別委員会の審査から

令和6年度補正予算の主な審査内容をお知らせします。◇質問の詳細は会議録に掲載します。「会議録の公開予定」は8面をご覧ください。

第2回臨時会

◆一般会計(第1号)

【主な補正内容】

定額減税

定額減税し切れないと見込まれる所得水準の方への定額減税補足給付金給付のための経費。

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金

今年度新たに住民税非課税となる世帯等に対する給付を行うための経費。

都知事選挙

ポスター掲示場に係る経費。

増額16億5千189万1千円

【主な質疑】

定額減税

問 新たな事務作業や担当課の時間外勤務などが発生すると思うが、その対応は。

答 市民税課のシステムの修正・確認や定額減税の周知に伴う事務等は新たに発生するものと考えている。

特に予算は計上していないが、当然対応していく。給付事業については、庁内連携とともに増員等により引き続き体制の強化を図る。

電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金

問 窓口申請に加え、対象者への確認書の送付以外に、電子申請、QRコードの申

請を新たに導入するが、申請方法は。

答 QRコードを展開すると電子申請画面につながり、マイナンバーを通じて必要な事項を入力して申請する形となる。国が用意する電子申請を採用する予定のため、詳細が分かり次第、広報・周知に努める。



給付事業関係

問 コールセンターの設置を行うということだが、税務に精通している職員が配置されるのか。

答 委託の部分も含まれるが、税の中に踏み込んだような内容については、税務部門の担当者と連携し、返答していく。

【結果】賛成全員で可決



第2回定例会

◆一般会計(第2号)

【主な補正内容】

新型コロナウイルスワクチンの定期接種体制の確保、高齢者肺炎球菌ワクチン・小児インフルエンザワクチンの予防接種時に要する実費負担軽減や風疹の追加的対策に係る経費。

増額4億5千351万円

【主な質疑】

小児インフルエンザ任意接種

問 市の補助は1回につき2千円だが、自己負担額の想定はいくらか。

答 任意接種の金額は基本的に医療機関で決定しているが、昨年の実績を踏まえると、1千500円から2千円程度見込んでいる。

問 都の事業費を活用するとのことだが、市としての事業実施の趣旨は。

答 都の趣旨と同じく、子育て支援の観点から、子育て世代の負担軽減のため、実施するに至った。



高齢者肺炎球菌予防接種

問 4月から既に定期接種の対象となっている方々は、現在5千円で接種を受けている。8月からは2千500円

で接種できるようになるが、差額はどうか。答 7月末までに接種を受けた場合は、一度5千円を医療機関で支払い、その後、申請をいただくことで、差額の2千500円を返還する。



風疹の追加対策

問 市が送付しているクーポン券の利用状況は。

答 令和5年度速報値としては、令和元年度から通算で抗体検査を行った方が25%、抗体がなかったため予防接種を受けられた方が全体で5.9%となっている。

【結果】賛成多数で可決

◆一般会計(第3号)

【主な補正内容】

定額減税補足給付金給付のための経費。

増額2千682万円

【主な質疑】

定額減税

問 今回の補正に至った経緯は。

答 6月の基準日時点での課税状況を用い、国のシステムにより算定した結果、給付金総額と対象者数が算出され、予算に不足が生じることが判明した。

【結果】賛成全員で可決